

野球オーダーグローブ刺繍入れ内製化による 受注拡大

Products

取扱い商品

SINCE 1946 伝統とイノベーション「本物」は進化し続ける
株式会社 JUNKEI-GLOVE

ベースボールグローブの聖地 三宅町から、すべてのプレーヤーのために本物を送り出す。

【 アラミドシリーズ 】

衝撃による糸のほつれを激減させる、
強力な糸（アラミド繊維）を採用



【 スタンダードシリーズ 】

豊富なラインナップで
様々なプレーヤーに対応



【 グローブへの刺繍書体 】



BackGround

事業化にいたる経緯・背景

【 ベースボールグローブ生産の 80%を占めるもOEM生産主体 】

かつて三宅町は国内のベースボールグローブ生産の 80%を占めたベースボールグローブの聖地である。ところが大手メーカーのOEM生産が主体であるため、三宅町の名前が世に出ることもなく、大手メーカーや商社の経営に振り回され、経営破綻に追い込まれる業者も相次いだ。

【 2004 年に自主ブランド『JUNKEI-GLOVE』を商標登録 】

大手メーカーが生産拠点を海外に移すにいたって、『三宅町のブランド、三宅町のグローブ工場、三宅町の会社』として自社ブランドを立ち上げようという思いが益々強まり、2004 年に『JUNKEI-GLOVE』のロゴマークを商標登録し、2008 年に株式会社 JUNKEI-GLOVEを設立した。

【 最新鋭コンピュータ刺繍機を導入、販路拡大に向けた生産体制の構築へ 】

小売店と連携し、自社ブランドの販路拡大を目指す中で、グローブ刺繍は外注先に 100%依存し、その受注状況により納期や費用に影響を及ぼすことが多く、当社の大きな経営課題となっていた。このため最新鋭のコンピュータ刺繍機を導入し受注の幅を広げ、小売店ニーズにも応えられる生産体制の構築を目指す。

OEM生産から

自社ブランドへ

- 三宅町のブランド
 - 三宅町のグローブ工場
 - 三宅町の会社
- へのこだわり

販路拡大へ

- グローブ刺繍は 100%外注依存
 - 納期遅れやコスト高の原因
- ↓
- 大きな経営課題

刺繍工程の内製化へ

株式会社 JUNKEI-GLOVE

■設立 平成 20 年 2 月
■事業内容 硬式野球グローブの開発・製造
■本社所在地 奈良県磯城郡三宅町上但馬 123
■URL <http://www.junkei-glove.co.jp>

■資本金 1,000 万円
■従業員数 1 名
■TEL 0745-56-2002
■E-MAIL info@junkei-glove.co.jp



■代表者 代表取締役社長 吉田 貴夫

1946 年創業以来、株式会社 JUNKEI-GLOVE は硬式グローブの製造において常に進化し続けてきました。見せかけだけや流行にとらわれることなく、「型」「材料」「設備」にこだわり、本物を見極める目を持つことに JUNKEI-GLOVE の信念があります。

Contents

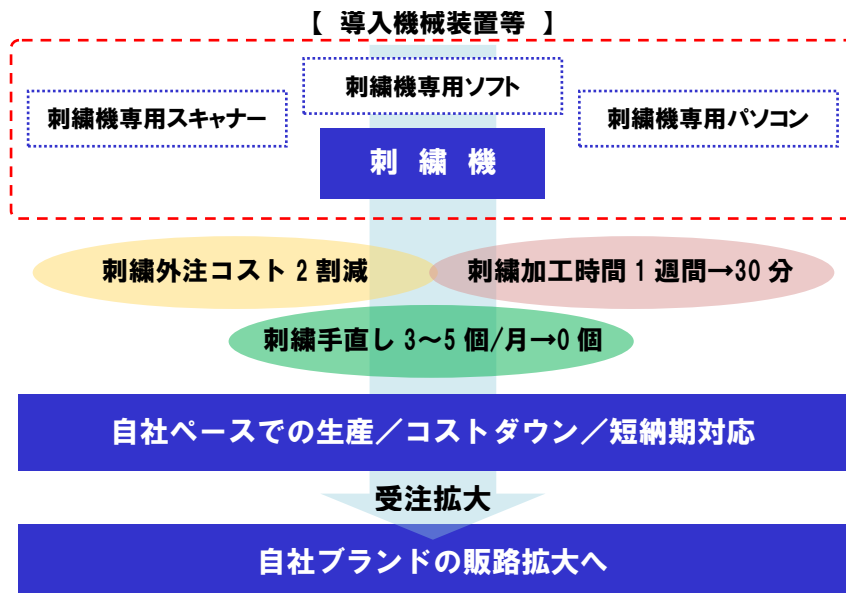
事業の概要・成果

- 刺繍機並びに専用パソコン、専用スキャナー、専用ソフトを導入
- コストダウンと短納期化を実現化し、自社ブランドの販路拡大への契機となった

導入した機器は、刺繍機並びに専用パソコン、専用スキャナー、専用ソフト。

機器・ソフトの導入により、刺繍外注コストは 2 割減、刺繍加工に費やす時間は 1 週間から 30 分へと大幅に短縮された。内製化により当然外注への刺繍手直しはなくなった。

これにより、自社ペースでの生産が可能となり、これを契機に現在約 60 の小売店と連携し自社ブランドの販路拡大に、さらに注力していきたい。



Task

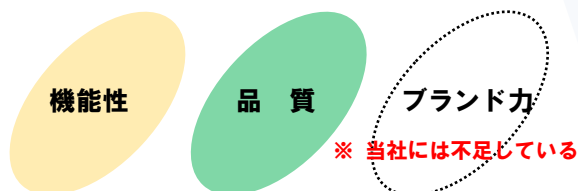
事業化における課題

課題 ブランド力不足

営業活動を通して『JUNKEI-GLOVE』が未だ知名度が低いことを実感。

当社に足りないものはブランド力であると感じている。

何をどうすればブランド力を向上させることができるのか、試行錯誤の段階である。



Solution

解決への道筋

施策 職人的要素とマーケティング的要素

品質・機能へのこだわりはもちろん重要である。ただし、そのような職人的要素とともに、販売・広報といったマーケティング的要素も身につける必要がある。

この両方が備わって初めてブランド力の向上につながる。



両要素が備わってブランド力へ

Future

今後の事業スケジュール

【年間売上】

- 平成 27 年度：6,800 万円（刺繍機導入により削減される外注費：20 万円）目標
- 平成 29 年度：7,200 万円（刺繍機導入により削減される外注費：35 万円）目標
- 平成 31 年度：7,600 万円（刺繍機導入により削減される外注費：45 万円）目標